

# 時間割

## 【選択】 ⑨小学校教諭実践講座 〈オンデマンド配信〉

月日	時限	時限	タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/18 (水)	1限	9:00～10:30	学び合いのスキル30の指導	主体的・対話的な学びで深い学びを導く学び合いのスキル30の指導のポイントを授業事例で講義する。	石田淳一	講義・演習	郵送試験	【連絡事項】算数の講義では、テキスト購入してもらい、テキストを参照しながら講義する。テキストは後日案内します。
	2限	10:40～12:10	問題提示の工夫を考える	算数教科書の問題をどのように提示すると能動的な学習を導くのか実際の授業事例から考える。				
	3限	13:10～14:40	子どもがつなぐ話し合いの指導	算数授業で、子ども主体のつなぐ話し合いを実現するために、教師の働きかけと子どものつなぎ方に注目して、分析する。				
	4限	14:50～16:20	算数学び合いの授業をデザインしよう	実際に学び合いの算数授業を教科書のいくつかの教材を用いて、授業デザインを作り、検討する。				
8/19 (木)	1限	9:00～10:30	話すこと・聞くことの指導法を考える	音声言語の指導法は難しいと言われている。話したことはすぐに消えてしまうと同時に、聞いているかどうかは外見だけでは判断しにくいからである。だが、音声言語の指導は重視しなければならないし、これからも必要性が増していくと考えられる。スピーチ、話し合い等について、実際の活動を通してよりよい指導法を追究したい。	阿部藤子	講義・演習	郵送試験	特になし
	2限	10:40～12:10	書くことの指導法を考える	書く力をつけることは大事なことであるが、実際の指導は難しいと言われている。書くことを嫌がる子がいる、指導に時間がかかる、評価が簡単ではない等の様々な理由があげられる。多様な書く力をつけるためには、どのように指導したらよいかを実践事例に基づいて追究したい。				
	3限	13:10～14:40	読むことの指導法(文学)を考える	文学教材を指導するうえで、教材研究法、単元の指導計画をどのようにするか、活動のバランスをどうとるか、書く活動をどのように取り入れるか等、様々な課題がある。文学教材を「読む」ということの意味もふまえて、基本的な指導法をより具体的、実践的に検討したい。				
	4限	14:50～16:20	読むことの指導法(説明文)を考える	説明的な文章を読む学習においては、教師が教材研究の段階から論の展開をおさえつつ批判的に読み、それを授業でも生かしていきたい。また、読むことと話し合うこと、書くことを有機的に結びつけて学習活動を組織していく方策を探り、実践事例にふれながら検討していく。				

# 時間割

## 【選択】 ⑨小学校教諭実践講座 〈オンデマンド配信〉

月日	時限		タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/20 (金)	1限	9:00～10:30	発達障害についての理解 (特別支援教育)	通常の学級に在籍している発達障害の児童等への適切な指導や支援を行うためには、まず、それらの児童等の特性を的確に理解し、実態把握する必要がある。映像資料などを通して、特徴的な事例を紹介し、発達障害について理解し、個別の指導・支援のあり方や、学級経営上の工夫などについて考えていく。	半澤嘉博	講義・演習	郵送試験	特になし
	2限	10:40～12:10	発達障害の児童等への支援 (特別支援教育)	発達障害の児童等への適切な指導や支援のためには、個別の教育支援計画や個別指導計画を作成していくことが大切である。映像資料などを通して、小学校における個別の教育支援計画の策定の仕方や、全教員の専門性の向上、関係機関や保護者との連携などの課題解決の方策を考えていく。				
	3限	13:10～14:40	道徳科の目指すところ ～道徳科の特質・授業方法・評価	道徳科を実際に指導するに当たっては、学習指導要領に示される道徳科の目標を適切に理解することが求められる。道徳科の目標に示される道徳科の特質とそこで目指される資質・能力を構造的に理解するとともに、道徳科の評価についての在り方についても目標から考えていく。	走井洋一	講義・演習		【連絡事項】 受講者には事前に教材とそれに対する課題を出すので、それに取り組むこと
	4限	14:50～16:20	道徳科の授業の構想 ～道徳科の教材研究と発問構成	心情主義的な道徳の授業を乗り越えた道徳科の授業はどうあるべきなのかについて、教科書の教材を用い、教材をいかに研究し、発問をいかに構成するのかを受講生とともに考えていきたい。なお、教科書にはあらかじめ発問が用意されているが、それをどのように活かして授業を構想するのも考えていく。				

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

**\* 講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**